



NO. 3 [発行 2019. 2]

ワトワーズ多聞台

事務所の開所と「たもん・センター・カフェ！」の新装オープン

多聞台のコミュニティの拠点づくりを目的に、昨年秋より進められていた多聞集会所管理人室の内装工事が完成し、新装「たもん・センター・カフェ！」として1月17日から営業を開始しました。同時に、旧カフェはNPO法人ワトワーズ多聞台の事務所として、1月7日から営業を開始しました。これを祝って、1月19日に垂水区の山田区長をはじめ多くの来賓をお迎えし、オープンセレモニーが盛大に開催されました。

NPO法人ワトワーズ多聞台は2017年9月に設立したものの、これまで事務所がなかったために実在感に乏しく、会員の皆さんには大変なご不便をおかけし、業務の遂行にも大きな支障をきたしていましたが、今後は平日の10時～17時まで事務局スタッフが常駐します。応接コーナーも設けていますので、なにかお困りごとなどありましたら、お気軽にお立ち寄りください。



振り返ると、今から5年前に住民・神戸市・有識者による「多聞台団地再生協議会」が発足し、少子高齢化に悩む多聞台の再生・活性化の議論が始まりました。その2年後に住民のカンパを財源に初代「たもん・センター・カフェ！」が産声を上げました。その翌年に住民を主体としたNPO法人ワトワーズ多聞台が設立され、カフェの運営を担うようになりました。そしてその翌年、神戸市によって多聞集会所管理人室の内装工事が行われ、先日のオープンセレモニーを迎えました。このような足跡をたどってみると、このカフェと事務所は、これまでまちの再生・活性化に取り組んできた住民と神戸市と有識者の「**信頼の結晶**」といえるものです。多聞台の再生・活性化は道半ばですが、このたびの事務所と新装「たもん・センター・カフェ！」のオープンはこのまちの再生・活性化をこれまで以上に加速させる大きな一歩となることでしょう。

NPO法人ワトワーズ多聞台では、スタッフの募集を随時行っています。カフェで働きたい、地域のサポーターとして誰かの役に立ちたい、高齢者の生活支援をしたい、まちをきれいにする活動に参加したい、事務局スタッフとしてNPOの運営に携わりたい等々、地域のために活動したい方はどなたでもご相談ください。スタッフ一同、お待ちしております。

個人・団体会員やスタッフを募集しております。
近隣の方や知人・友人へご紹介ください。よろしく願いいたします。





2019.1.17 NEW OPEN

いつも「たもん・センター・カフェ！」をご利用いただき、ありがとうございます。当店は、1月17日、昨年秋より改修工事が進められてきた多聞集会所管理人室へ場所を移し、新たなスタートをきりました！

これまでのカフェは NPO 法人ワトワーズ多聞台の事務所に生まれ変わりました。

みなさん、もう新しいカフェにお越し頂けましたでしょうか？店内は、クールでありながらも温かみのある空間で席数も増え、調理設備も整いました。大工さん手づくりのベビーシートやチェアのあるトイレもできました。

“カフェに行くのが楽しみになる”そんなカフェになることを目指し、これからも、居心地の良い空間づくりや新メニューの考案、楽しいイベントの企画に取り組んでいきます。

住民であるスタッフが自分たちで可能性を探り、アイデアを出し合い、自分たちで運営する、そうすることが自分たちのまちがよりよくなることにつながると信じて！！

みなさん、ぜひカフェにお越しください！スタッフ一同、お待ちしております。



イベントのお知らせ

◆ジップロックで味噌づくり◆

ジップロックを使ってお手軽に味噌づくりを体験してみませんか。栄養満点の味噌は、子どもたちの食育にもピッタリ！今年は我が家のオリジナル味噌を楽しみましょう。ご家族でのご参加、お待ちしております。

日時：3月9日（土）

10：00～12：00

場所：多聞台地域福祉センター

参加費：1,000円（材料・飲み物代含む）

（ご家族1名追加ごとに飲み物代100円をいただきます）



Instagram

はじめました！

Follow us!

@tamon.cafe

平成30年8月26日多聞台地域福祉センターにおいて垂水区観光ボランティアガイドの勸角奎介氏、喜好恵子氏、堀範子氏、大畑留理子氏をお招きして、多聞台の歴史についてお話を伺いました。

多聞①

天台宗多聞寺の変遷

多聞の名前の言われ

860年ごろ 第56代清和天皇の勅命により、高僧円仁(第3代天台宗座主 慈覚大師)が、御本尊毘沙門天(秘仏)を1刀参礼(ひと彫りごとに三度礼拝する)で彫り、この地(芦池)から出た小さな毘沙門像を内蔵仏とし、納めて開山したと言われているお寺です。

毘沙門のサンスクリット語の音訳は「よく聞くとところのもの」、漢字で表現すると「多聞」となるそうです。

日本では独立尊としては毘沙門天、四天王で安置されるときは多聞天と呼ばれています(南側増長天、東側持國天、西側広目天)。お寺や村の名前の多聞もここから出ました。

勅願寺は領地が広く 勿論境内も広がったそうです。楼門の大門(1423年ごろ創建)は、今の大門橋付近(第二神明道路と山田川が交差するところ、大門橋バス停西)にあったそうです。仁王像も(1403年作と言われています)当時の大門に納められていたそうです。

また、最盛期(10世紀末から12世紀末頃と言われています)、お堂は七堂伽藍、塔頭23ヶ寺 僧坊40もあったと伝えられています。その領地内には湯屋(風呂)もあったそうで、湯屋公園(本多聞七丁目南行きバス停前)として名前が残っています。

戦火・天災などにより巨刹も焼失しましたが、本堂・阿弥陀堂・鐘楼などは江戸時代に再興され、さらに開基1100年(昭和33年頃)に、本堂、阿弥陀堂は、大幅な改修が行われました。



円仁 (慈覚大師)

大門は江戸中期に当時の村の中心、本多聞1丁目の現多聞会館前に(石柱があります) 移築、その後、昭和12年頃に現在の場所へ、平成元年頃には再建され、現在の姿になりました。

本堂には国の重要文化財に指定されている 日光菩薩、月光菩薩、阿弥陀堂には阿弥陀如来坐像が安置されています。



村の中心にあった頃の大門



札所 明石西国三十三ヶ所観音霊場 第29番 - 札所本尊：聖観世音菩薩
神戸十三仏霊場 第10番 - 札所本尊：阿弥陀如来

多聞② 心字池(しんじいけ)とカキツバタ

「心字池」という名の由来は、心という字に似ているからとの説があり、見方によっては横長の池に島が二つ並んでいるところは、草書体の心の字をかたどったように見えるとか、「池の水は、心を映す鏡」だとする仏教義だとする説もあります。約1100年～1200年前、慈覚大師が中国から約2000株のカキツバタを持ち帰り、植えられたとの事ですが、一般の品種とは少し趣きの違う原種で、今もその美しさは変わらず、5月には約100坪もあるといわれる水面に見事なカキツバタが咲きます。

他にも、春の桃やかりん、夏の芙蓉、秋の萩、冬の椿なども見事で、花の寺として親しまれています。



心字池



カキツバタの花

カキツバタのこと

古来は、サトイモ科の菖蒲を「しょうぶ」とも「あやめ」とも呼んでいました。端午の節句に用いたのも菖蒲の葉。その花は薄黄色の蒲の穂のような形で、観賞用にはされませんでした。

菖蒲の葉に似て、美しい花が咲くことから「花菖蒲(はなあやめ)」と呼ばれていた花が、江戸時代中頃に略されて、現在のように「菖蒲(あやめ)」と呼ばれるようになりました。その上、同じ頃「花菖蒲(はなしょうぶ)」が生み出されます。「いずれ、菖蒲(あやめ)か、杜若(かきつばた)」といわれますが、本当に紛らわしいですね。

普通は、花の付け根が網目模様になっているのが菖蒲(あやめ)、白いのが杜若、黄色いのが「花菖蒲(はなしょうぶ)」です。水辺に咲くのは、杜若か花菖蒲。菖蒲、杜若、花菖蒲の順で咲き始めます。

古歌 「かげたのも 心の池のふかければ 多聞たからをさずけたまわん」
多聞寺御詠歌 「よろずよの願ひをここにカキツバタ 大慈 大悲の多聞寺かな」

多聞の伝統芸能 鬼会式(追儼式)

毎年1月5日には本堂で魔除けと五穀豊穡を願う、鬼会式が行われます。郷土芸能保存会の方々が扮する人生の喜怒哀楽を表した、太郎鬼、次郎鬼そしてババ鬼が、太鼓やほら貝、半鐘に合わせて踊ります。肌色の太郎、赤色の次郎、青色のババは、それぞれ笑い、怒り、泣きを表現しています。この鬼会式は、鎌倉時代末期(推定)に始まったとされています。



鬼追い式(1月5日)



由緒

多聞六神社は明治7年(1874年)、村社になりました。以前は村の鎮守社として親しまれていました。創建は貞観5年という説がありますが、御祭神が舞子六神社(西舞子1丁目)と全く同じことであることから、江戸時代前期半ば、舞子六神社と同じく、明石の岩屋神社から御分霊を勧請してこの地に祀られたものと思われます。明治になって火災に遭い、旧社殿は明治30年に再建されましたが、昭和59年老朽化のため建て替えられました。

平成7年(1995年)に発生した阪神・淡路大震災によって社殿壁面にひびが入り、石灯笼や狛犬、鳥居なども倒壊するなど大きな被害を受けました。しかし早速「多聞六神社復興委員会」が結成され、翌平成8年には全壊した社務所が再建され、被害を受けた鳥居などで、「復興記念碑」が建てられました。



震災復興記念碑

破損した鳥居の貫(横木)

嘉永4年の銘の入った狛犬

ご祭神(六柱の神)

- 1 伊弉諾命(イザナギノミコト) ……国造りの神
- 2 伊弉冉命(イザナミノミコト) ……国造りの神
- 3 大日靈命(オオヒルメノミコト) ……日の神、天照大神
- 4 月読命(ツキヨミノミコト) ……月の神、月を読む、すなわち暦法の神。また農耕や航海の神。
- 5 素戔嗚命(スサノオノミコト) ……荒ぶる神、根国(ねのくに)の神
- 6 蛭子命(ヒルコノミコト) ……恵比寿神

● 近隣の祭神の合祀 ●

- 7 大山咋神(オオヤマクヱノカミ) ……比叡山の地主神 多聞寺創建時、日吉大社から勧請され分祀された。明治37年(1904年)多聞六神社に合祀された。
- 8 天鈿女命(アメノウズメノミコト) ……天の岩戸の前で踊り舞った、芸能の始祖神といわれる

その他の見どころ



安永6年(1777)と刻まれた石柱

隣接の小祠、白髪大明神は、山田川対岸にあったが、昭和49年(1974)住宅団地開発のためこの地に移された



多聞六神社のおまつり

- 元日～3日 初詣
- 7月 夏祭り
- 10月 秋祭り



秋祭りの獅子舞神事、こどもみこし、木遣を唄いながら御旅所へ

多聞④

多聞の周辺散策

【湯屋公園】

(多聞寺交差点からおおよそ東200メートルの場所)



「本多聞7丁目」舞子方面行きのバス停前に小さな公園があります。春には美しい桜が咲き、地域住民の憩いの場になっています。その昔このあたりに、多聞寺の修行僧や参拝客が入浴していたと言われていた湯屋（風呂）があり、この名がつけました。



【大門跡】

(学園都市駅行きの「大門橋」バス停西 大門橋付近)

1313年ごろ、この付近に多聞寺の大門があったとされています。その後(江戸時代中期)、本多聞1丁目の多聞会館前に、さらに昭和12年ごろ現在の場所に移設されました。



江戸中期、大門があったところ

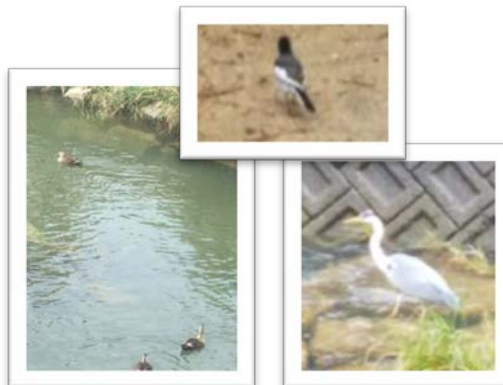
【かきつばたの名前のバス停】

多聞団地が開発されたとき、バスは今の「多聞団地センター前」が終点でしたが、その後、学園都市駅までバスの路線が延長されました。そして、山陽バスの三宮行高速バスが走るようになり、神戸市花の名所に選ばれている多聞寺のかきつばたを冠した、バス停「かきつばた多聞寺」が設置されました。



山陽バスの停留所名に

【豊かな自然と 町の共生】



ALT通信 #2

多聞台に住むALT(外国語指導助手)のエッセイを紹介しています。第2回は日本が大好きで大学時代に日本に留学経験のあるサラ先生が、日本とアメリカの文化の違いを興味深く書いてくださいました。

Hellow! My name is Sarah, and I'm from Chicago in United State of America. The photo is a picture of the house where I grew up. Now, Chicago is below -25°C , the sensible temperature will be -40°C . It is dangerous to go outside.



こんにちは！ 私の名前はサラといいます。アメリカのシカゴから来ました。写真は私が育った家の写真です。今、シカゴはマイナス25度、体感温度はマイナス40度にもなりません。外に出るのは危険なくらいなのですよ。

I came to Japan to be an ALT and also learn Japanese. I first became interested in Japan when I was very young because my family likes to try food from many different countries. I really liked sushi and teriyaki chicken when I was an elementary school student. My major in university was Asian Studies, so I learned the Japanese language and became more interested in Japanese history. In university I studied abroad in Japan and had an incredible time, so I wanted to go back to Japan someday. Now I have lived in Japan for more than two years. It's mostly wonderful, but there are hard days.

The culture difference I struggle with the most is "tatemae". As an American, I am used to my bosses or coworkers telling me directly when I am doing something wrong. Then I can fix it. In Japan, my bosses and coworkers don't always tell me when I make a mistake. I know they are trying to be kind to me and preserve workplace harmony, but often I think, "If they don't tell me when I am doing something wrong, how can I know how fix what I'm doing? What if I don't realize I'm doing something wrong?" Sometimes I make a mistake and they say I did fine. I have learned to pay close attention to how Japanese people communicate, and I still have a lot of learn.

Objectively neither culture is better than the others, but if people don't know about his culture differences in an international workplace, it can cause problems for everyone. I think it would be wonderful for both Japanese and Americans to better understand this difference to improve communication in the future. ♥

私は英語教諭として、また日本語を学ぶ続けるために日本にきました。私が日本に興味を持ち始めたのは、私が幼い頃からです。私の両親はいろんな国の料理に興味がありました。そして私が小学生の時、寿司や照り焼きチキンが好きになりました。大学ではアジア研究を専攻し、日本語の勉強を始め、より日本の歴史に興味を持つようになりました。大学時代には日本に留学し、とても素晴らしい時間を過ごしました。そしていつかまた日本に戻ってきたいと思ったのです。現在は、日本に暮らし始めて二年が過ぎ、その大半は素晴らしい日々ですが、困難にぶつかる日もあります。

文化の違いで戸惑うことは、いつも「建て前」を伝えられる時です。アメリカでは、何か間違ったことをした時、上司や同僚はダイレクトにその間違いを指摘します。そして私はその指摘から間違いを正すことが出来るのです。ですが、日本では私の上司や同僚は、私が間違ったこと(その場では不適切なこと)をしていても、直接伝えてくれるとは限りません。上司や同僚が、私に優しくしてくれていることも、その場の調和を保とうとしていることも理解できるのですが、私はいつも「もし私がミスをした時に彼らが教えてくれなかったら、私はその間違いをどうやって気づき、直すことが出来るのだろうか？」と思うのです。その間違いに気が付かないままだと、私は直さなくてもいいと解釈をしてしまいます。たまに、私が間違ったことをしても、大丈夫だよと伝えてくれます。私はこの二年間で職場の空気をだいぶ読めるようになりましたが、このことを含めて、私はまだまだ日本の文化について学ぶことがたくさんあると感じています。そしてもっと学び、理解を深めていきたいと思っています。

どちらの国の文化もいいところがあります。ですが、インターナショナルな場面では文化の違いを知らないと、お互いに困難が生じます。私は、すべての人がこのお互いの文化の違いを理解してコミュニケーションを図ることが出来れば、未来はより素敵なものになるだろうと思っています。♥

お知らせ

1) 松ヶ池公園の野鳥観察会・講演会

今年も松ヶ池公園にオシドリやマガモなど多くの渡り鳥がやってきました。NPO 法人ワトワーズ多聞台では今年も松ヶ池公園での観察会とコーヒーとお菓子を楽しみながら学ぶサイエンス・カフェを下記のとおり開催します。事前に申し込みのうえご参加ください。

日 時：平成 31 年 2 月 24 日(日) 10 時～12 時

会 場：松ヶ池公園・多聞台地域福祉センター

講 師：日本野鳥の会ひょうご 大津賀真紀子氏ほか

参加費：一人 500 円(コーヒー・お菓子付き)

定 員：30 名(定員になり次第締め切ります)

申込み：NPO 法人ワトワーズ多聞台(798-5538)

多聞台地域福祉センター(785-7030)

集 合：10 時に多聞台地域福祉センター(双眼鏡をお持ちの方はお持ちください。)



2) 多聞台団地再生協議会のワーキング

まちの再生・活性化を図るには、住民が必要な情報を共有し、行政と合意形成を図りながら進めることが大切です。そのために、隔月ごとにソフト事業とハード整備に関するワーキングが開催されています。どなたでも参加できますので気軽にいらしてください。

★ NPO連絡会・まちのつかいかたワーキング(ソフト事業の協議)

偶数月の第3火曜日 10 時～12 時

★ 多聞台空間像ワーキング(ハード整備に関する協議)

奇数月の第4木曜日 10 時～12 時

★ 会場はどちらもUR集会所

3) 自宅で原木シイタケを育てませんか

多聞台里山クラブでは、東公園で伐採したウバメガシを利用し、シイタケのホダ木を作っています。うまく管理すれば、翌年から美味しい原木シイタケがたくさん採れます。シイタケの菌を植え付けた原木をご自宅の庭に設置するサービス付きで、1 本 500 円でお分けします。原木は数に限りがありますので、希望者は早めにNPO事務所に申し込んでください。シイタケの育て方については説明書もあり、個別相談に応じます。



発行：特定非営利活動法人 ワトワーズ多聞台

神戸市垂水区多聞台四丁目 14 番 2 号

☎ 078-798-5538

URL <http://watowas.sakura.ne.jp/>

✉ watowas@helen.ocn.ne.jp